

児童館をご利用の皆様

公益社団法人 京都市児童館学童連盟
常務理事 健全育成・子育て支援統括監 國重 晴彦
京都市七条第三児童館 館長 岡田 淳子

令和5年度

利用者満足度調査（アンケート）の結果について

陽春の候、皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃から当法人の児童館事業にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

この度、当法人が運営する児童館を利用されているすべての方へ向けて、利用者満足度調査(アンケート)を実施したところ、多数のご協力をいただいたことについて、厚く御礼申し上げます。

今回のアンケート結果について全体傾向といたしましては昨年同様児童館の雰囲気や職員の対応に対して多くの方に満足をいただける評価を得ることができました。

乳幼児の保護者様からは、同じ年ごろの子を持つお母さんと知り合えてよかった、他の子とのつながりが見られた、親子で一緒に遊べて楽しい、等のご意見をいただいています。職員と話をしたり相談したりすることで、子育ての不安も軽減されたという方もおられました。活動は、季節の行事や体を動かして遊べる取組を求める声がありました。また、小学生や中高生との交流を試みたいとの意見もいただきました。来年度はそうしたご意見をふまえたプログラムを用意できればと考えております。

自由来館の小学生は、行事参加や友だちと遊ぶために児童館を利用してくれていますが、職員と遊ぶことも楽しんでくれているようです。来年度は、自由来館児童が参加しやすい行事の充実と、日常の取組を増やしたいと思っております。

学童クラブの保護者様からは、異年齢で過ごすことによりお互いに学びあうことが増え、心が育まれていると感じられたり、様々なことに興味を持つようになったりした、と成長を喜ぶ声をいただいています。また、季節行事や体験活動を求める声もありました。来年度は、様々な体験ができるような活動の充実を目指します。一方で、おやつについてのご意見も頂戴しています。児童館といたしましても、課題と考えておりますので今後しっかりと検討いたします。

学童クラブ児童からは、友だちと会えることを楽しいと感じ、職員と色々な話ができて、困ったことを聞いてくれると感じてくれていました。引き続き子どもたちが過ごしやすい環境づくりと、一人一人の思いにしっかりと心を傾けて見守っていこうと思っております。また、館外活動や親子交流での遊びを求める声や、日常の遊び方についての希望をいただきましたので、来年度に向け、充実した取組・活動の実施を検討いたします。そして、学童クラブが子どもたちにとって「生き生きと輝ける場」「安心できる居場所」になれるよう職員一同努めてまいります。

また、アンケート設問項目ごとの集計結果に関しましては、単純集計結果とご意見について一部抜粋したものを児童館内に掲示すると共に、京都市の児童館ホームページ内の当館情報ページにも掲載していますので、ご覧いただければ幸いです。

今後も、利用者の皆様にご満足いただける児童館運営を目指してまいりますので、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。